

市議会(議決機関)の役割と市役所(執行機関)の役割について学びました

「なごや 子ども市会」では、議会についての話だけではなく、教育委員会の職員さんから市役所の役割や教育委員会の取り組みなどについて説明がありました。

市役所はさまざまな仕事を行っているため、多くの部署があります。教育委員会もその1つであり、議会において決まった条例(市民のみなさんに守ってもらうルール)や予算(市のお金の使い方)などに基づいて、新しい学校をつくったり、学校で使うタブレットなどの教材を用意したりしています。

このように、条例や予算を話し合っで決める議会のことを「議決機関」と、議会において決まった条例や予算などに基づいて実際に行動するための部署を「執行機関」と言います。

「なごや 子ども市会」では、教育委員会の職員さんから“新しい学校ができるまで”の議会や市役所の役割について説明を聞きました。



教育委員会の職員さんから市役所の役割などを聞きました

新しい学校ができるまで

市議会(議決機関)

“名古屋市に新しい学校をつくる”ために、市長から提案された条例と予算を決めます。

市役所(執行機関)

教育委員会は、議会で決まった条例と予算に基づいて、新しい学校を作るために必要なことを行います。



陸前高田市と名古屋市との交流について学びました

「なごや 子ども市会」では、議長から岩手県陸前高田市と名古屋市との交流について説明がありました。

陸前高田市は、2011年(平成23年)3月11日に発生した巨大な地震(東日本大震災)で大きな被害を受けました。そこで、名古屋市の職員が陸前高田市に行きまわりのお手伝いをする事になり、それをきっかけとして、さまざまな分野での交流が行われるようになりました。名古屋市会でも、2018年(平成30年)に陸前高田市議会と「友好交流協定」を結んでいます。

「なごや 子ども市会」でも、2013年(平成25年)に、陸前高田市の小学生が子ども市会本会議に参加し、「なごや 子ども市会」の子ども議員とともに「名古屋市と陸前高田市の子どものための交流に関する宣言」を行いました。また、2014年(平成26年)から2019年(令和元年)にかけて、陸前高田市の小学校へメッセージを書いて送付するなどの交流を行っています。



陸前高田市と名古屋市との交流について学びました

陸前高田市の小学生と「なごや 子ども市会」の子ども議員が宣言(2013年(平成25年))

「なごや 子ども市会」に参加した皆さんからの感想と議長・副議長から子ども議員へのメッセージ

「なごや 子ども市会」に参加した皆さんからいただいた感想やアイデアの一部を紹介します。

- 議会や市役所の仕事などについていろんな人にもっと知ってもらったら良いと思います。
- 名古屋のことを知れるような機会がもっとほしい。
- また、なごや子ども市会をやってほしい。
- 陸前高田市と名古屋市に交流があることを知らなかったの、知ることができてよかった。今後、もし、議員になれたら、陸前高田市と協力してよりよいまちづくりをしていきたい。
- 違う地域に住んでいる方のために色々な支援をしていて、すごいと思いました。助け合いが大事だと感じました。
- 陸前高田市と名古屋市の交流についての説明を聞いて、1本だけ残っていた「奇跡の一本松」が東山動植物園に贈られたことがわかったので、東山動植物園は家から近いので見てみたいと思いました。



議長・副議長から子ども議員へのメッセージ

子ども議員の皆さん、4年ぶりとなる子ども市会へのご参加、ありがとうございました。

子ども市会で、名古屋市が行っている仕事や名古屋市会の役割、陸前高田市との交流について大いに学ばれたことだと思います。これからの名古屋市を支えていくのは、子ども議員の皆さんをはじめとする若い皆さんです。名古屋市をどうしたら快適で、安全で、住みやすいまちにできるのかを考えてもらうきっかけになれば、大変うれしく思います。

そして、子ども議員の皆さんからは、「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデアや陸前高田市と名古屋市の交流についての感想などをたくさんいただきました。皆さんからいただいた気持ちのこもった素晴らしい意見を、今後の市政に生かし、名古屋市をもっといいまちにしていきたいと思っています。ありがとうございました。